

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

事業期間 H20 ～ H22

担当部局	部局名	企画部
	課室名	企画調整課

1. 基本施策名等 (基本計画における「基本施策名」等を記入)	
基本施策ID	基本施策名
7 - 2 - 1	自立した市民活動を支援する
重点施策ID	重点施策名
- - -	

2. 事業名等	
事業名	ふるさとイキイキ事業
事業区分	②
細事業名	③
事業主体	市
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務
実施期間	平成 18 年度 ～ 平成 20 年度
根拠法規	豊後大野市ふるさとイキイキ事業補助金交付要綱
各種の計画への反映 (=根拠計画)	事業ID 06023

3. 事業の内容等	
事業の背景 合併直後という状況の中で、従来からの変化への戸惑い、過疎・高齢化が進む中、新市への期待など様々な思いがあることから、住民の視点にたった制度の見直しや調整が必要とされている。	補助事業 名称 補助率 国 県 その他 1/ 1/ 1/
	起債の種類 ① ② ③
	事業の目的及び対象 【目的】 旧町村ごとの独自性のあるまちづくりに対し支援を行うことで、市全体のまちづくり機運の醸成と均衡ある市勢の発展に期する。 【対象】 市内全域

事業概要 補助対象事業 ① 地域イベント ② 地域伝統芸能の保存・継承活動 ③ 花いっぱい運動や道路美化運動などの市民運動活動 ④ 市単費で地域を限定して実施されている事業 ※ H18年度からH20年度までのサンセット事業で、予算は前年の概ね10% 前年度の評価 B 終了	評価結果に基づき見直した内容
---	-----------------------

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)							
財源内訳	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		85,000	76,800	69,500		
計		85,000	76,800	69,500			
決算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他		84,817	76,543			
	計		84,817	76,543			

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成17年度	平成18年度	平成19年度	課題
【実績】	【実績】 補助団体数：56	【実績】 補助団体数：55	

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	補助金の交付						
効率指標	前年度決算額 > 当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。						
成果指標	補助団体数						
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別		団体	団体	団体			
目標値			55	52			
実績値		56	55	52			
達成率			100.0%	100.0%			
備考							

総合計画／実施計画書 兼 事業事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	企画部
	課室名	企画調整課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	合併直後の市民の不安解消や周辺部の地域活性化を図るために、平成18年度から平成20年度までのサンセット方式により事業実施しており、必要性は高い。				
行政の関与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	合併直後の市民の不安解消や周辺部の地域活性化を図るために、平成18年度から平成20年度までのサンセット方式により事業実施しており、行政の関与が必要である。				
手段の妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	本事業は平成20年度までのサンセット方式により実施している。補助金については、前年度に比して10%カットしており、実行委員会等の事業主体が知恵と工夫を凝らしながら実施している。協働のまちづくりの一環として、市民自らが自主的かつ自立的に取り組む機運の醸成に繋がってきている。				
事業の効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	本事業はサンセット方式であり、事業費も対前年に比して10%カットしている。このため、実施主体が自主財源の確保のために努力しているという例も見受けられる。しかし、組織的には行政が事務局を務めるなど、完全に自立できていない実施主体が大半を占める。				
事業の算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	1	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	平成20年度に本事業が終了するため、平成21年度からは予算措置の必要はない。				
人体制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	兼任業務であり、現状の体制が必要である。				
事業規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	B	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	本事業はサンセット方式のため、平成20年度に終了。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
<p>総合計画の理念でもある、「協働のまちづくり」の意味を職員も含め市民に理解していただく必要がある。ふるさとイキイキ事業評価が、ただ単に予算的な削減のみではなく、行政改革や本市の将来を見据えて実施されていくべきである。実施主体の組織的な確立や持続可能な事業に対し、集中的に投資していく、選択と集中の手法への転換を図るべきである。</p>					
部長	課長	班長	担当者	内線 2053 E-mail @bungo-ohno.jp	